

校長通信

ぽかぽか便り No.3

天理市立井戸堂小学校

令和4年4月28日

文責 阪本 真紀子

「本が好き」 図書室の様子



職員室の向かい側に図書室があります。どこかのクラスが利用しているなと思ってちょっとのぞいてみました。すると、かじりつくようにして本を読んでいる子どもたちの姿が…。図書室には行くものの、なかなか本を決められずうろうろしている間に時間が来て…。ということはありがちなのですが、そんな様子はありません。そして終了時間になり、廊下に並びだす子どもたち。大事そうに本を手を、つつい開いてしまっている子もいます。少々驚き、声をかけてしまいました。5年生の子どもたちでした。本を見せてくれる子や簡単に内容を教えてくれる子、シリーズを続けて読んでいるという子もいます。これは、素晴らしいと思いました。「このクラス本がすきやねん。」という言葉が印象的でした。



放課後の図書室では…

その日の放課後に、図書ボランティアの方が4名、図書室に入っていました。作業の様子を少し見せていただきました。この日は、恐竜図鑑など、子どもたちに人気が高いこともあり傷んでしまった本の修理、ジャンルごとに整理しやすいよう本に色ラベルを付ける作業、本の整理などをしてくださいました。毎週1回、都合のつくメンバーで作業をしてくださっているとのこと。図書室は明るく、ゆったりした広さです。入口から入ってすぐの机に、本が魅力的に並べられています。つつい本を手に取りたくなくなってしまいます。以前「子どもが本を手に取りやすい環境づくりがとても大切だ」と教えていただいたことがあります。「これかあ!」と昼間の子どもたちの姿がつながりました。井戸堂小学校の子どもたちは恵まれています。本当にありがたいことです。感謝しつつ、どんどん本を読みましょ。おすすめの本、教えてほしいです!

